

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	家族介護者等支援事業			事業コード	0426
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室	担当係名		
	課長名	渡邊 光市	担当者名	宮 香織	電話番号 3565

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	介護保険費特別会計 3款 2項 2目 任意事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 12年度～)					
事務事業の概要	寝たきり高齢者等の家族介護者を日々の介護から一時的に開放し、心身の元気回復を図る。					
根拠法令等	盛岡市家族介護者リフレッシュ事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成12年度4月から国の補助制度となったことより開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
日々の介護から開放される機会であり、対象者から継続してほしいという要望が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
在宅で介護する場合であっても、介護保険制度を適切に利用することで介護にかかる負担を軽減することができるようになったため、当事業の中で介護保険制度の周知を図る必要がある。なお、当該事業の財源は、平成18年度から「県費と一般財源」から「介護保険費特別会計」となった。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 参加者数	単位	人
			B.	単位	
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 開催回数	単位	回
			B.	単位	
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 参加者数/家庭でねたきり高齢者等を介護している者の数×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
			B. リフレッシュできた参加者数/総参加者数×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
			C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位:人) 介護予防事業参加者数(単位:人) 介護保険サービス利用者数(単位:人)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	参加者数	人	39	44	65	55	65		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	開催回数	回	3	2	3	3	3		年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	参加者数/家庭でねたきり高齢者等を介護している者の数 ×100	%	1.95	1.8	2	1.8	2		年度
成果 指標B	リフレッシュできた参加者数/総参加者数×100	%	90	90	90	90	90		年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	558	773	955	803	955		*****
財源 内訳	④国	千円		309	382	321	382		*****
	⑤県	千円		155	191	161	191		*****
	⑥地方債	千円		155	191	161	191		*****
	⑦一般財源	千円	558	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円		154	191	160	191		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	558	773	955	803	955		*****
	延べ業務時間数	時間		10	10	10	10		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	0	40	40	40	40	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	558	813	995	843	995	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 介護者へのサポート体制を整備することで、要介護高齢者の在宅生活の維持につながることから結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 日常的な介護で外出することのない少ない介護者自身が、介護者とおしの交流の場を設定することは困難なため、市での実施がふさわしい事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 寝たきり高齢者または重度障がい者が在宅で介護している家族を対象としている。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 家族介護者を支援することで、在宅の要介護高齢者の生活を維持することを目的としていることから妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 制度の周知を図るとともに、参加しやすい日程・内容のものにしていく。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 介護知識の習得や介護保険制度の普及を行う機会を失うため、家族介護者をサポートする体制がなくなるため。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 必要最小限の経費であり、削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 委託業務が主な業務であり、今以上の削減は見込めない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 希望する人は参加できることから公平公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 介護者の交流の場を市が用意することとして実施しており、費用負担は想定していない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向

- ①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること
制度の周知について検討する必要がある。
- ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?
(関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次評価

- (1)一次評価者としての評価結果
- | | | |
|-------|-------------------------------------|--|
| ① 必要性 | <input checked="" type="radio"/> 妥当 | <input type="radio"/> 見直し余地あり |
| ② 有効性 | <input type="radio"/> 妥当 | <input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり |
| ③ 効率性 | <input checked="" type="radio"/> 妥当 | <input type="radio"/> 見直し余地あり |
| ④ 公平性 | <input checked="" type="radio"/> 妥当 | <input type="radio"/> 見直し余地あり |

(2)全体総括(振り返り, 反省点)

見守り支援の取組みとして、事業の必要性が高い。今後も継続する必要がある。

今後の方向性と改革改善案

(3)今後の事務の方向性(改革改善案)

- | | | | |
|-----------------------------|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 終了 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | → | <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) |
| <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> 休止 | | <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う |
| | | | <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 |



方向付けの理由と改革改善の内容

社会福祉協議会や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、事業の周知や内容の充実に取り組む。